

シロチドリ (チドリ科) 全長 17 センチ

自宅から近い所にある大浦沼。かなりの頻度で通っています。

圃場整備により沼の周囲を一周できる農道が出来たことにより、野鳥観察には好都合です。沼の水面を眺めながらゆっくりと車を進めると、目の前の砂利道からパッと飛び立った小鳥がいた。そのまま逃げ去ることなく、10メートルほど先の道路に降り立った。

双眼鏡で覗いて見るとコチドリのようだ。更に距離を縮めながら逃走距離ギリギリまで近づいて観察すると、シロチドリの幼鳥であった。



コチドリと似ているが、背中模様などからシロチドリの幼鳥であった。

シロチドリは主に海岸の砂浜などで観察されますが、内陸部で見たのは初めてです。他には見当たらず、たった1羽のようです。

幼鳥は、親鳥や仲間と一緒に移動の途中に逸れてしまったのだろうか。路上にうずくまったまま動きが止まりました。くたびれているのだろうか。



歩きながら餌を探しているようだ。



大きな目。

10 分間ほど待っていたが、飛び去ることはありません。あまり刺激しないよう、その場からそっと離れることにしました。



羽の裏側は白っぽい。



くたびれたのか坐ってしまった。